

# 環境 だより



問合せ先 環境対策室 ☎95-1613

## スプレー缶の 分別方法

これまで、スプレー缶を回収する際、中身を使い切り、穴をあけ、素材別に排出をお願いしてまいりましたが、穴をあけることにより火災や事故が発生する恐れがあることから、移行期間として7月より、分別方法を追加します。



### 現在 分別方法

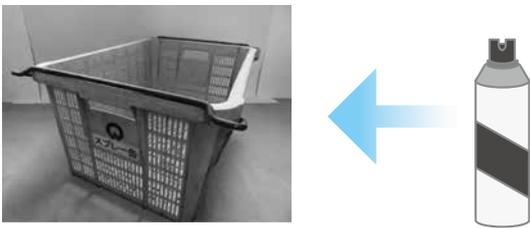
現在の分別方法でも缶類としてスプレー缶を排出することができませんが、その場合は、従来どおり中身を使い切ってから、スプレー缶に穴をあけ、缶の素材で分別して出してください。

### 追加 分別方法

スプレー缶の中身を完全に使い切った状態で、穴をあけずにスプレー缶専用カゴに排出をしてください。スプレー缶の素材で分別する必要はありません。



中身を必ず使い切ってから、穴をあけ、素材で分別して捨てる。



▲スプレー缶専用カゴ

缶がカラになったことを確認し、スプレー缶専用カゴに捨てる。

どちらの分別方法でも、スプレー缶に付属しているキャップは外してください。

プラスチックは、非常に便利な素材です。成形しやすく、軽くて丈夫で密閉性も高いため、製品の軽量化や食品ロスの削減など、あらゆる分野で私たちの生活に貢献しています。一方で、廃棄物、海洋プラスチックごみ、地球温暖化などの課題もあります。私たちは、プラスチックの過剰な使用を抑制し、賢く利用していく必要があります。

このような状況を踏まえ、令和2年7月1日より、全国でプラスチック製買物袋、いわゆるレジ袋の有料化をおこなうこととなりました。これは、普段何気なくもらっているレジ袋を有料化することで、それが本来に必要なかを考えていただき、私たちのライフスタイルを見直すきっかけとすることを目的としています。

皆さんも、レジ袋有料化をきっかけに自身のライフスタイルを見つめ直し、エコバッグを持ち歩く等、できることからプラスチックを賢く使う工夫をしましょう。

環境問題解決の第一歩

## レジ袋 有料化

2020年7月1日  
スタート

